

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【 I、V 】
2 実施対象者	札幌市立美しが丘小学校 6年生（46名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 道徳、総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	夢の実現に向かって努力した人との出会いを通して、自分の将来についての希望を具体的に深めていくための視点をもつ。
5 取組内容	○指導計画 【4時間扱い】 ①道徳の時間：1時間 ◆私たちの道徳（小学校5・6年） 1. 自分をみかいて 「希望と勇気をもってくじけずに」の頁で、自分が描いている夢を記入し、自分事として考える。また、目標に向かって努力を重ねた人たちのコラムを読んで、希望と勇気をもってくじけないで努力することの大切さについて考える。 ②東京オリンピック・パラリンピックマスコット投票の際の授業 ◆オリンピック・パラリンピックの理念及びマスコットの役割 ③総合的な学習の時間：1時間(15時間扱いの中の) 「美ジョンマイライフ」 ◆オリンピックを招いて、自身の経験から夢に向かって努力することの大切さについての話をさせていただく など ④総合的な学習の時間：1時間(15時間扱いの中の) 「美ジョンマイライフ」 ◆オリンピックから話を聞いて自分なりに考えたことなどについて交流したり、振り返ったりする。 ⑤道徳の時間：1時間 ◆私たちの道徳（小学校5・6年） 4. みんなとつながって

「生きる喜びを感じて」  
～真海のチャレンジ（佐藤真海）～



※オリンピックの矢代直美さんのお話を聞いて

矢代さんは5年生のころに入道してみたいな  
感じ代て選手村好きじゃないと言ったけど、  
中学2年生のときに同級生に言われた「ま  
でまう走りでは怪我にも負けたくない」という意  
持ちや努力がすごいなと思わされた。

※お礼のカード書こう

今日は美しが丘小学校に来てくれてありが  
とうございました。選手村のことがいはいあ  
かてよかったです。食べ物でも生物がダメだ  
り飲み物とかも自分で開けたものしかダメだ  
たりきついことがたくさんあるんだと  
思はば教えていただきありがとうございました。  
お礼のカード書こう

※オリンピックの矢代直美さんのお話を聞いて

矢代さん、小学校のときなまはるもので中2の  
ときにき、かけてオリンピック選手まで  
な。たのがすごいと思わされた。食事や飲み物  
の自己管理は、おどろきました。「やってみよう」  
の言葉が、心に残りました。

※お礼のカード書こう

小学校の時の話やオリンピックの事など  
をたくさん教えてくれてありがとうございました。  
中学2年生の時のき、かけてオリンピック選手  
までな。たのがすごいと思わされた。「ま  
り、  
しなくて「やってみよう」にします！  
今日のお話を聞いてためになりました。  
お礼のカード書こう

6 主な成果

今回の学習を総合的な学習時間の6年生の単元に、「美ジョンマイ  
ライフ」という職業体験を通して将来の展望をもつ学習の一環と位置  
付けた。地域で働く人の営みや仕事との向き合い方に目を向け、調べ  
たり考えたりすることを通して、働くことに対する自分の見方や考え  
をもつことがねらいである。

- 本物のオリンピックで実業団でも活躍していた矢代さんの体験談を  
聞くことができ、『自分の夢をもち、夢や希望に向かって努力する  
ことの大切さ』を強く実感することができたことは大きな成果だっ  
た。小中学生の頃の自分のことを正直に話してくれたことが、子  
どもたちには親近感が湧いたようである。
- できないと思うことをやめ、あきらめずに挑戦し続けたことについ  
て「なぜできないのかを人に聞いたり、観察したりすることで、い  
ろいろなことができるようになった。できないこともあるが、まず  
はやってみてほしい。」と子どもたちに自分の思いを伝えてくれた。
- 夢を現実のものにした人の言葉は、子どもたちにとって何よりも心  
に響くものであり、矢代さんとの交流はたいへん有意義な時間であ  
った。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	6年生は、中学進学を控えているので、将来の展望をもたせやすい学年である。また、様々な体験が、夢や希望にもつながる。実際に働く経験をしたり、誰かの経験談を聞いたりする機会が多いほど、将来の自分の夢や職業に対する自分の見方や考え方を広げられる可能性が増えてくる。キャリア教育としての価値をより明確にし、有効な指導計画を立てていきたい。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。